



データで見る
金沢大学

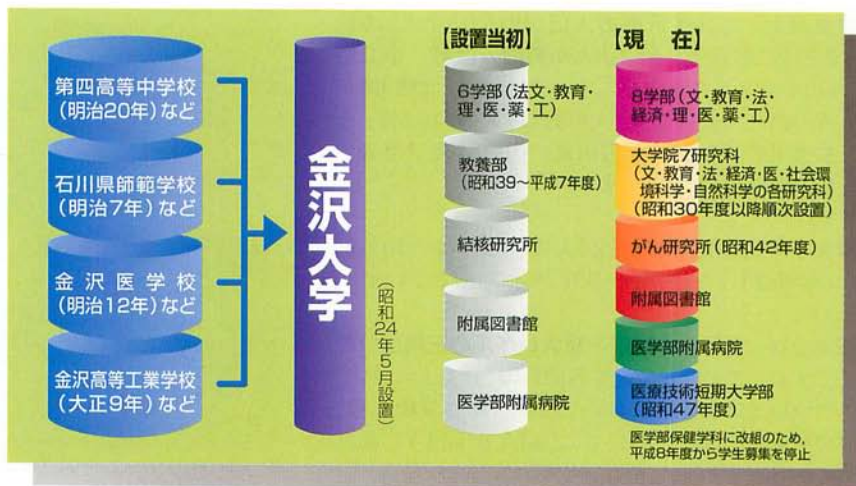
1997
平成9年度

データは特別な記載がある場合を除き、平成9年5月1日現在

金沢大学の概要を把握していただくために、12項目のデータをグラフや表にしてみました。

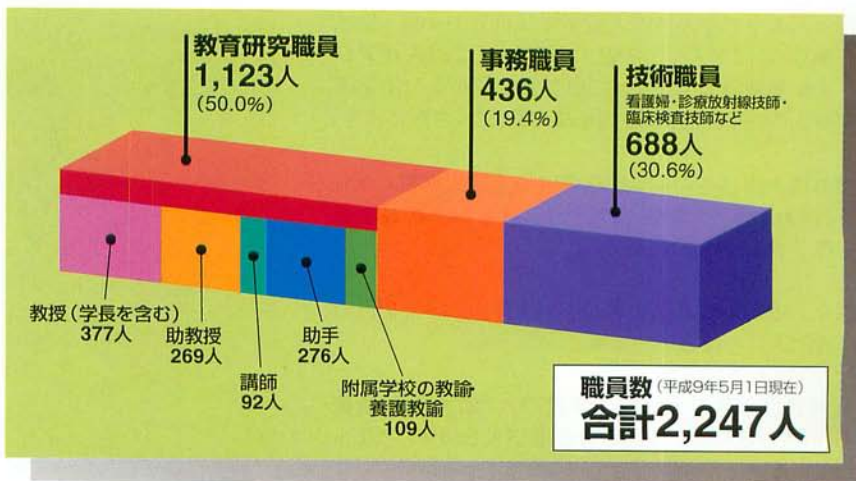
創立以来49年目。現在8学部・7研究科。卒業生総数は約6万6千人

- 金沢大学は明治7年創設の石川県師範学校など様々な学校の歴史と伝統を引き継ぎ、昭和24年5月に新制大学として発足、平成11年には創立50周年を迎えます。
- 当初あった法文学部は昭和55年度に文・法・経済の3学部へ改組され、現在は教育・理・医・薬・工の5学部と合わせ計8学部（ほかに教養部廃止に伴い、平成8年度に新設された教養教育機構）で構成されています。併せて大学院7研究科、がん研究所などを有しています。
- これまでに学部52,714人、大学院修士課程6,113人、同博士課程1,509人、医療技術短期大学部4,411人など合計約6万6千人の卒業生を送り出しています。



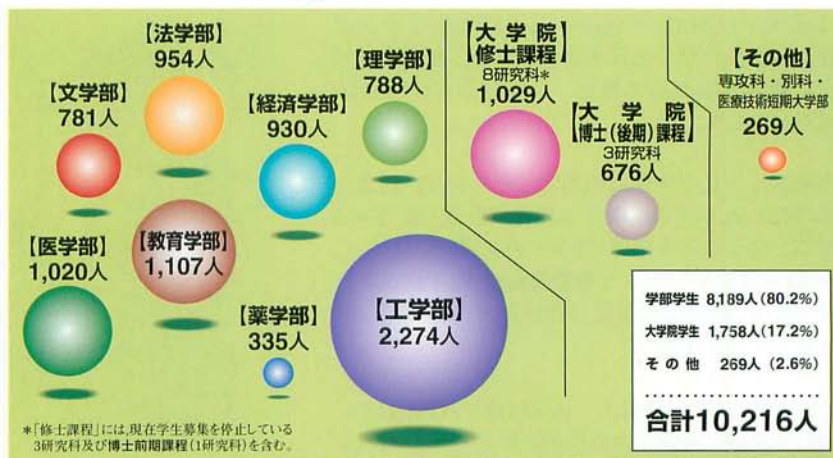
働くスタッフは約2,250人。うち女性が約800人

- スタッフ（専任のみ）の半分は教授をはじめとする教育研究職員、約2割が事務職員、約3割が技術職員となっています。大学は、教育研究機関という性格上、多くのスタッフを抱えているのが通例であり、金沢大学でもスタッフの総数は2,247人に及んでいます。
- 教育研究職員のうち150人（13.4%）、事務職員のうち161人（36.9%）、技術職員のうち494人（71.8%）が女性です。合計では女性が805人（35.8%）を占めています。なお、教育研究職員のうち26人が外国人教員で全体の約2.3%に達しています。
- 特に医学部附属病院及びがん研究所附属病院に勤務するスタッフの比率は高く、全体の約3分の1に当たる782人が働いています。



約1万人が主要3キャンパスを中心に在籍。約 $\frac{1}{3}$ が女子学生

- 金沢大学には金沢市の人口(約45万5千人)の約2.2%に相当する10,216人が角間、宝町、小立野の3キャンパスを中心に学んでいます。北陸3県からの出身割合は学生2人に対し1人弱(46.5%)。うち過半数(25.3%)が石川県。平成9年度学部入学者の場合)となっています。
- 女子学生の総数は3,224人で、比率は、10年前(昭和62年)の26.5%から31.7%に増加しています。
- 以上は、学部・大学院・短大レベルの正規生の数ですが、このほか生涯学習関係の“社会人入学者”についてはDATA 7(4ページ)に、附属学校(5校)の児童・生徒数についてはDATA 8(同上)に掲げてあります。



世界31か国・地域の276人が学ぶ。中国からの留学生が半数以上

- 金沢大学で学ぶ外国人留学生は世界31か国・地域からの計276人。うち82.2%に当たる227人がアジアから来日しています。中でも中国からの留学生が一番多く、全体の半数を超える152人を数えます。
- 外国人留学生の約4分の3の202人は大学院(うち119人が博士(後期)課程)で、残る74人は各学部等で学んでいます。
- 女子留学生の進出も著しく、全体の34.8%を占める96人にのぼっています。
- 経費出所別の内訳は、国費77人(27.9%)、私費184人(66.7%)、外国政府派遣15人(5.4%)となっています。





国際交流協定

10か国の23大学・研究所等と締結。学生・研究者などが相互に交流

■金沢大学は、現在10か国の23大学（一部は研究所等）と交流協定を締結しており、これらの機関との間では、相互に多くの学生や研究者などが行き来しています。

■平成8年度中に、大学間交流では、中国の蘇州大学と協定を締結し（同国の機関とは初めて）、また、アメリカのタフツ大学とも同国では4番目になる協定を結びました。さらに、部局間交流協定としては、文学部など3部局が新たに2機関（2か国）との間で新協定を成立させました。

■大学間交流協定締結先大学の所在地のうち、バッファロー（アメリカ）・ナンシー（フランス）・蘇州（中国）は金沢市の姉妹都市です。

【国際交流協定締結先機関（大学・研究所等）数】

国名											計 10か国 23機関
	中国	韓国	タイ	フランス	ドイツ	フィンランド	ポーランド	イギリス	ロシア	アメリカ	
大学間交流	1			2	1	1		2		4	11
部局間交流	3	2	1				1	1	3	1	12
(本学の協定 締結部局)	経済=1 かん研=1	かん研=2	工				工	文	経済=2 理=1	教育	

【大学間交流協定締結先機関の一覧】（締結順）

注：締結年月日・国名・機関名の順に表示	
1956. 1.20 [アメリカ]	ペンシルバニア大学(フィラデルフィア)
1974. 6.12 [アメリカ]	ニューヨーク州立大学バッファロー校
1976. 9.21 [フランス]	第一ナンシー大学
1976. 9.21 [フランス]	第二ナンシー大学
1991. 6. 6 [アメリカ]	ウィリアムアンドメアリー大学(ウィリアムズバーグ)
1991.10. 4 [イギリス]	リヴァプール ジョン モアズ大学
1991.10. 8 [イギリス]	シェフィールド大学
1991.10.14 [アイルランド]	ダブリンシティ大学
1993. 9.14 [ドイツ]	ジーゲン総合大学
1996.12.27 [アメリカ]	タフツ大学(メドフォード)
1997. 1.22 [中国]	蘇州大学



産学官協力

企業等と約60件の共同研究・受託研究を実施

■産学官協力の具体化として、金沢大学では平成8年度に、共同研究28件、受託研究30件、合計58件を実施しました。

■これらの研究テーマとしては「PCBの処理技術に関する研究」など地域社会と密接なものも取り上げられ、研究成果が地元へ還元されています。また、これら以外に、例えばナホトカ号の重油流出事故等に関し、金沢大学の日頃の研究成果が公共団体等に提供され地域に役立っています。

■産学官協力推進のため、^{角間}キャンパスに共同研究センターが設置されており、特に同センター内の科学技術相談室が技術相談等に積極的に対応しています。

【共同研究・受託研究の件数】



●「共同研究」とは、民間企業等から研究者と研究経費を受け入れて、大学の教育研究職員と共通の課題について共同で行う研究である。

●「受託研究」とは、民間企業、公共団体等からの委託に基づき、大学の教育研究職員が公務として行う研究である。



約970人の“社会人”が“入学”。幅広い年齢層を受入れ

■金沢大学では生涯学習振興などの観点から、一般の学生以外に職業人や主婦などを積極的に受け入れています。

■これに関する制度としては、正規学生(大学院)に係る「社会人特別選抜」、特定の科目について学習する「科目等履修生」、ある分野について深く研究する「研究生」、一般市民が興味のあるテーマの講座を受講する「公開講座」、民間企業の研究者などを受け入れる「研究員」などがあります。

■これらを通し、18歳から86歳までの幅広い年齢層の“社会人”が金沢大学に“入学”しています。

【社会人入学者の年代別内訳】

平成9年度 (一部については平成8年度)



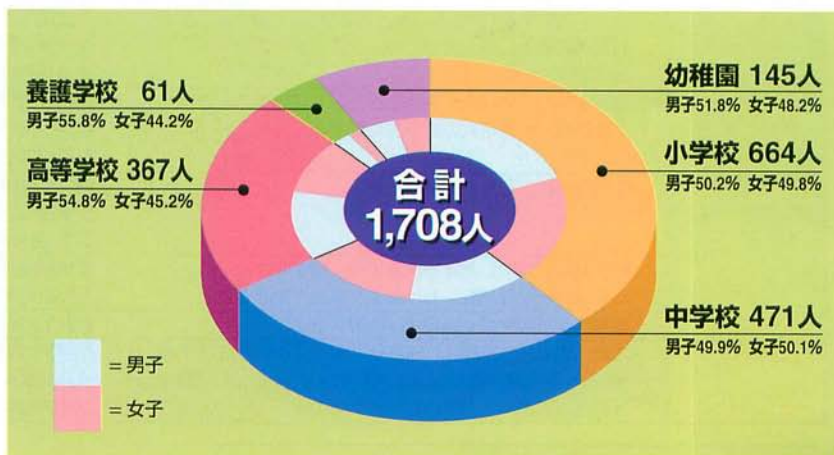
*「正規学生」は、別途、学年に応じた過年度入学者が在学している。

高等学校を含め5校を設置。幼児・児童・生徒は総計約1700人

■金沢大学には教育学部附属学校として、明治8年開設の石川県師範学校附属小学校の伝統を受け継ぐ小学校をはじめ、中学校、高等学校、養護学校、幼稚園の計5校が附設されています。

■5校のうち、養護学校(東兼六キャンパス)を除く4校は、平成7年度に平和町キャンパスに統合され、互いに関連を持った教育が行われています。

■これらの五つの附属学校で学ぶ幼児・児童・生徒合計約1,700人に対し、合わせて109人の教育職員により充実した教育が行われています。





附属図書館

蔵書数は和・洋書合わせて約146万冊。金沢市立図書館等とも連携

- 金沢大学附属図書館は、角間キャンパスの中央図書館のほか、医学部分館、工学部分館の計3館で構成されており、これらの蔵書総数は和・洋書合わせて約146万冊、雑誌約3万種にのぼっています。
- 蔵書の中には、故・^{あけがらすはな}暁鳥敏師寄贈の「^{あけがらすはな}暁鳥文庫」、近世以前の文献を集めた「^{きたじょう}北条文庫」、「^{しんご}鈴木文庫」などがあります。
- 市民への開放事業も従来から積極的に実施されており、平成9年度からは、金沢市の玉川・泉野両図書館及び金沢美術工芸大学附属図書館との間で図書相互貸借に係る連携が開始されました。



附属病院

ベッド数合計832床。1日平均患者数は約2,300人

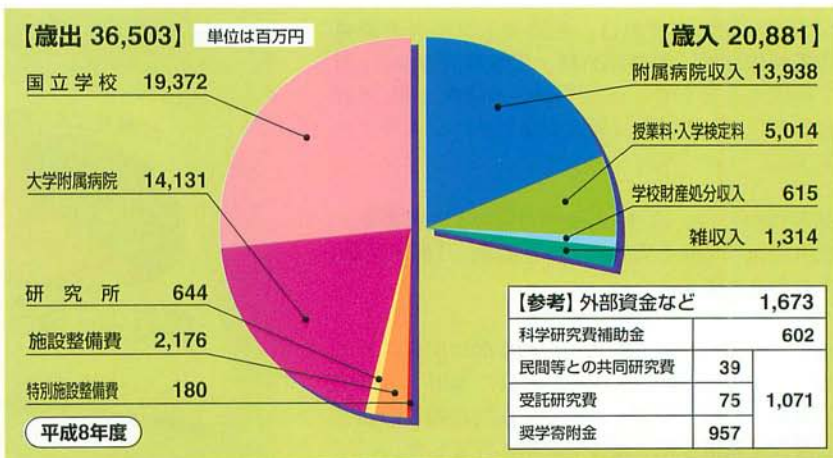
- 医学部附属病院とがん研究所附属病院の二つがあり、医学部附属病院には内科3、外科2のほか核医学診療科など計19診療科が、がん研究所附属病院には内科と外科の2診療科があります。このうち医学部附属病院は特定機能病院、救急病院などの指定を受けています。
- 二つの病院を合わせて看護婦(士)423人を含む合計780人(専任のみ)のスタッフが対応しています。
- 医学部附属病院がある^{たからまち}宝町キャンパスは、近い将来再開発が計画されており、完成後にはがん研究所附属病院も統合されて、新しい病院に生まれ変わる予定です。

平成8年度
※外来診療日数 245日

病院名	診療科数	ベッド数	診療状況			
			外来		入院	
			延患者数	1日平均患者数	延患者数	1日平均患者数
医学部附属病院 (宝町キャンパス)	19科	792床	363,566人	1,484人	271,877人	745人
がん研究所附属病院 (米泉キャンパス)	2科	40床	16,398人	67人	12,310人	34人
合計	21科	832床	379,964人	1,551人	284,187人	779人

歳出総額は約365億円。人口10万人規模の市の予算に相当

- 金沢大学の年間予算(平成8年度)は歳出ベースで約365億円。これは人口10万人程度の市の予算に相当する規模で、主な財源は国税です。
- 国立大学の歳出は、教育研究機関という性格上、人件費の比率が高く、金沢大学の場合は、平成8年度において54.0%(約197億円)を占めています。
- なお近年、一定の審査を経て交付される科学研究費補助金、政府出資金に基づく助成金等が増加しているのを受け、金沢大学でもそれらの受入れを積極的に進めています。また奨学寄附金その他についても、受入れの努力を継続しています。その結果、これら外部資金などの総額は約17億円(歳出の約4.6%に相当)に達しています。



総面積は約270万m²。石川県立野球場の約130倍

- 金沢大学のキャンパス総面積は石川県立野球場約130個に相当する約270万m²(270ha)にのびます。キャンパスのほとんどは金沢市内にありますが、能美郡辰口町(辰口キャンパス)や珠洲郡内浦町(小木キャンパス)などにも存在します。
- 金沢大学は以前「お城の中の大学」として有名でしたが、その旧・城内キャンパス(現在は石川県有地)や旧・広坂キャンパスは角間キャンパスへの総合移転(第I期)等に伴い現在は使用されておらず、総面積には含めていません。
- 角間キャンパスの約半分(107万m²)は総合移転第II期用地とされており、近い将来ここに薬学部・工学部・がん研究所などが順次移転する予定です。



金沢大学キャンパス位置図



各種業務に関するお問い合わせ先

事 項	お問い合わせ窓口	電話 番 号
学生関係	入学試験に関すること	入試課 (076) 264-5177
	入学金・授業料及び奨学金等に関すること	厚生課 (076) 264-5164
	学生寮に関すること	厚生課 (076) 264-5171
	学生の就職に関すること	厚生課 (076) 264-5165
	学生のアルバイトに関すること	厚生課 (076) 264-5169
	留学生に関すること	留学生課 (076) 264-5190
社会人の入学	社会人入学全般(社会人特別選抜を含む)に関すること	入試課 (076) 264-5177
	科目等履修生, 研究生などの入学に関すること	入試課, 各部署の学生(教務)係
	公開講座の受講に関すること	大学教育開放センター (076) 264-5271
民間等との協力	産学官協力全般(奨学寄附金を含む)に関すること	庶務課研究協力・広報係 (076) 264-5019
	共同研究・受託研究の実施等に関すること	共同研究センター (076) 264-6111
		各部署の会計(経理)係
図書館の利用	附属図書館の利用に関すること	中央図書館(角間キャンパス) (076) 264-5214
		医学部分館(宝町キャンパス) (076) 265-2141
		工学部分館(小立野キャンパス) (076) 234-4565
附属病院	医学部附属病院における医事相談に関すること	医学部附属病院医事課 (076) 265-2077
	がん研究所附属病院における医事相談に関すること	がん研究所附属病院医事係 (076) 226-2505
附属学校	教育学部附属学校(5校とも)に関すること	教育学部附属学校事務部 (076) 226-2181
その他全般	本学への来訪, 広報資料・開催行事情報等の入手に関すること	庶務課総務係 (076) 264-5011
	教官等への諸依頼(講演依頼, 語学相談等)に係る不明な点に関すること	庶務課総務係 (076) 264-5011
	電話番号に関するお問い合わせ, その他	庶務課総務係 (076) 264-5111

このリーフレットの掲載内容及び最新のニュース等については、「金沢大学ホームページ」でもご覧いただけます。

アドレス = <http://www.kanazawa-u.ac.jp>

平成9年8月
 編集: 金沢大学庶務部庶務課 TEL.(076)264-5019
 所在地: 〒920-11 金沢市角間町 FAX.(076)234-4010
 電子メール: general1@kenroku.ipc.kanazawa-u.ac.jp